

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/24】

この試合のプレー集計

男子Cリーグ戦

沖縄県選抜

9

1	—	2
3	—	2
2	—	1
3	—	0

5

広島県選抜

PSO

潮崎 正一

審判:

縄井 裕平

沖縄県選抜	21	SH数	12	広島県選抜
	2	速攻数	1	
	15	ST・SB	8	
	5	SH・P誘発アシスト	4	
	17%	GK阻止率	31%	
	2	EX反則数	4	

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

中学生世代の普及と強化が着実に進んできている両チームの対戦は、チャンピオンシップ以外の観点からも興味深いものがある。

【1P】

泳ぎの面で若干優位に立ったのが広島。攻撃だけでなく、ディフェンス面でもカバーリングへの意識も高く、元気の良さを披露した。まだ攻撃面では、ボールが中央ラインに集まる傾向が強く、相手ディフェンスを散らせて、スペース作りで有利に持ち込めるところまでには至っていないが、ゲームを支配できそうな序盤。沖縄もよく守って攻撃体制に持ち込むが、全体的にスピードが不足。決定的な状況を作り出すまでには至らず、沖縄1-2広島で第1ピリオド終了。

【2P】

沖縄がゴール前でペナルティを誘発して、そこを⑨比嘉が決めて同点に。さらに沖縄がディフェンス時の当たりから広島ボールを奪取し、そこを起点に⑨比嘉が決めて沖縄が逆転。しかし広島も沖縄のミス突いて、センター⑤藤野が決めて同点に持ち込んだ。その後も広島は攻め続け、ペナルティを誘発して⑧田川が決めて再びリードを奪ったが、その後の沖縄の再開攻撃で⑤仲島が決めて沖縄4-4広島で前半を折り返した。

【3P】

広島は経験不足や練習量の課題から、前に出ることがなかなかできず、そこを沖縄に突かれる形で⑥宮城、⑤仲島に決められ、点差を広げられる。広島はセンター⑤藤野にボールを集めようとするがなかなか成功しない。それでも沖縄のシュートミスから守備が手薄になったところを⑤藤野がセンターで決めて追いつき、沖縄6-5広島で第3ピリオド終了。

【4P】

沖縄が1点リードしての最終ピリオド、広島はGK①山田を中心に粘り強く守って、攻撃ではセンター⑤藤野にボールを集めようとするが、沖縄もカバーリング良く、ダブル、トリプルでセンターをカバー。そこでボールを奪取してからの攻撃で⑨比嘉、⑩佐藤が加点して突き放した。最終的には沖縄9-5広島と、第4ピリオドで広島が力尽きた形となった。

両チームともに発展途上にあることから、今後のレベルアップを図ることで両県の普及強化の道が開けてくるものと思われる。